



お仕事コース Canva講座

講師：松山みちる

今日のテーマ

フォント選び・カラー選びで
世界観を整える

Canva Proでできること

1，世界観づくりが簡単になる

ブランドキット → ロゴ・カラー・フォントを登録
ワンクリックでデザインに適用

Canva Proでできること

2，時短機能

背景リムーバー → 画像の背景を一瞬で削除

マジックリサイズ → サイズ変更が一瞬

Canva Proでできること

3，素材と発信の幅が広がる

有料素材が使い放題

動画・アニメーション・透過PNGが作れる

雰囲気

言葉

色

この3つが伝わるイメージ

フォントの基本①

丸み／シャープさ／手書き感
→ 印象の違い

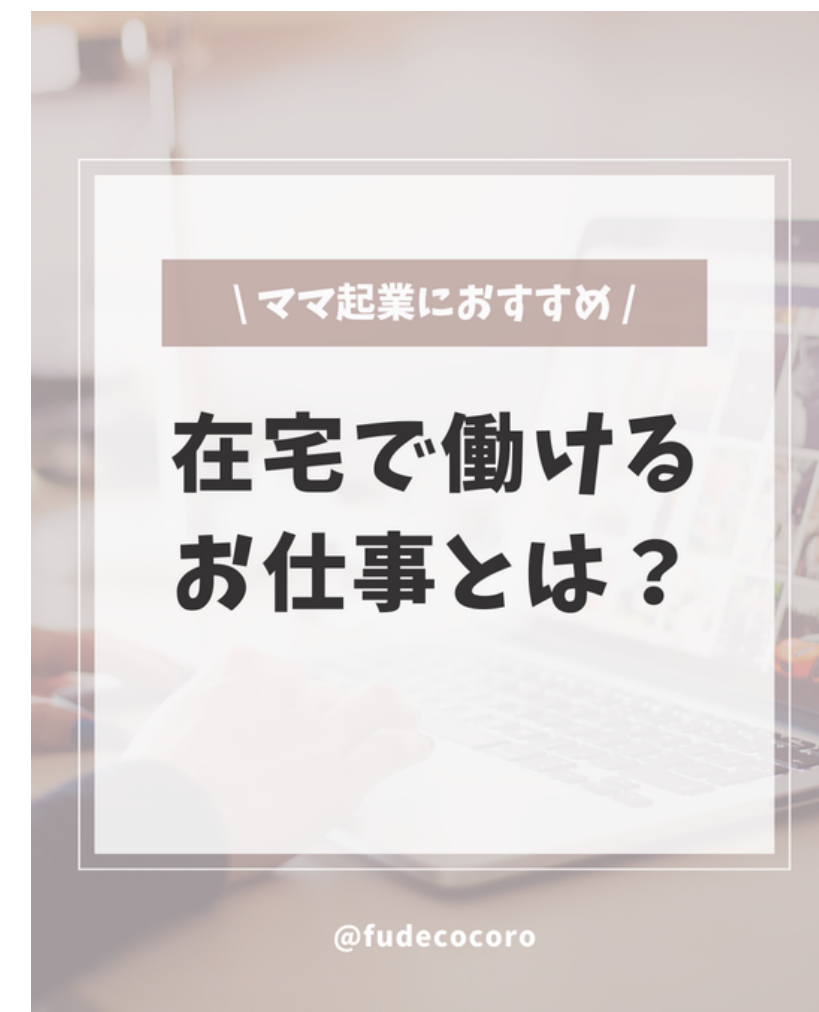
ポップなイメージ

ポップで親しみやすさを感じるフォント

フォント：けいふおんと

けいふおんと

ABCDE 1234



シンプルで柔らかいイメージ

情報発信する場合は
読みやすいフォントがおすすめ

フォント：コーポレート・ロゴ

あいうえお
あいうえお
ABCDE 1234



洗練されたイメージ

女性らしさが伝わるフォント

フォント：テロップ明朝

あいうえお

あいうえお

ABCDE 1234



何も分からなくなったら、これ！

普段使い勝手が良いフォント

フォント：Noto Sans JP

あいうえお

あいうえお

ABCDE 1234



フォントの基本②

見出し用と本文用の組み合わせ
ルール

どっちが見やすい？

1

ありがとう
ありがとう

2

ありがとう
ありがとう
ありがとう



組み合わせの具体例

1, 見出し：太め／インパクト系フォント

本文：読みやすいシンプルフォント

→メリハリが出て情報が整理される

2, 見出し：手書き風や明朝系

本文：ゴシックやサンセリフ

→おしゃれさと読みやすさを両立

3, NG例：両方とも装飾系や手書き系

→読みにくく、ゴチャゴチャ見える

カラーの基本①

自分のテーマカラーを
決める方法

テーマカラーを決める3ステップ

- ① 心が落ち着く・ときめく色を思い浮かべる
- ② 作品や写真から色を抽出する
- ③ 1色を「軸」に決めて残りをサポート色にする

Canvaの「自動抽出」機能

① 写真アップロードで抽出

自分の作品やお気に入りの写真をアップすると
→ その画像の主要な色を自動で拾ってパレットにしてくれる

② Canvaカラー抽出ツール (Web上)

Canvaのカラー抽出ツール に画像を入れると、
自動で4色パレットを作ってくれる。Canva外でも使えるから便利

Canvaの「自動抽出」機能使い方

<https://www.canva.com/colors/color-palette-generator/>

ここにアクセスする

1色を「軸」に決めて残りをサポート色にしてみる

メインカラー（1色）

ブランドや自分らしさを
表す軸の色

サブカラー（1色）

メインを引き立てたり、
変化をつける色

アクセントカラー（1色）

投稿にメリハリを出すために
使う少量の色

※「3色ルール」があると、フィード全体が統一感あってオシャレに見える

※色には波動があります



PNGとJPGの違い

画像を保存するとき、どちらを選べばいい？

PNG（ピング）	JPG（ジェイペグ）
イラストや文字におすすめ	写真におすすめ
線や文字がくっきり見える	色の多い写真をきれいに保存
透明な背景にもできる	透明な背景にはできない
データ容量が大きめ	データ容量が比較的小さい

迷ったときの選び方

- イラスト・文字入りデザイン
→ PNGがおすすめ
- 人物・風景などの写真
→ JPGがおすすめ



マジックレイヤーの使い方

マジックレイヤーとは？

1枚の画像をAIが自動で分析して、
文字・イラスト・背景などを
それぞれ編集できる状態にしてくれる機能です。

出来ること

- パーツを動かす
- 大きさを変える
- 不要なものを削除する
- 色や文字を編集する
- 別の素材に差し替える

マジックレイヤーの使い方

元の画像



パーツが分かれた画像



マジックレイヤー手順

1 マジックレイヤーをしたい画像を
Canvaにアップロードする

2 アップロードした画像を
白いキャンバスに貼り付ける



マジックレイヤー手順

3

6

「編集」を選択すると、左側に画像を編集機能が出てくる。

7

「マジックレイヤー」をクリックすると分解してくれます

5

クリックしてマジックレイヤーしたい画像を選択する

8

このようにパーツごとに分解される

The screenshot shows the Canva AI editor interface. The top bar includes 'ファイル' (File), 'リサイズ' (Resize), '編集モード' (Edit Mode), and 'A4 チラシ作成 課題用' (A4 Poster Creation Task). The left sidebar contains various tools like 'テンプレート' (Templates), '素材' (Assets), 'テキスト' (Text), 'ブランド' (Brand), 'アップロード' (Upload), 'ツール' (Tools), 'プロジェクト' (Projects), 'アプリ' (Apps), '写真' (Photos), '音源' (Audio), and '動画' (Video). The main workspace displays a poster titled '筆文字アート 体験会' (Calligraphy Art Experience). The poster features a central text area with '筆文字アート 体験会' and '～自分らしさを、一文字にのせて～'. Below this is a section for '作品写真' (Work Photo) and a table with details like '日時' (Date/Time), '場所' (Location), '料金' (Fees), and 'お申込みはこちら' (Sign up here). The bottom of the poster has a footer with 'メモ' (Memo) and 'タイマー' (Timer). The 'マジックレイヤー' tool is highlighted in the left sidebar, and the '編集' (Edit) button is circled in the top bar. A red arrow points from the 'マジックレイヤー' tool to the poster, and a hand icon points to the 'マジックレイヤー' tool. A red box highlights the 'マジックレイヤー' tool in the sidebar. A red box highlights the 'マジックレイヤー' tool in the sidebar. A red box highlights the 'マジックレイヤー' tool in the sidebar.